



万歳三唱の発声をする常総ひかり農業協同組合の塚本治男・代表理事組合長

ちなかのにぎわいづくりの拠点として、観光交流センター『さん歩の駅サン・SUNさぬま』が砂沼南岸に、屋根付き多目的広場『Waiwaiドームしもつま』が旧ジャスコ跡地にそれぞれオープンする。これまで以上に本市のさまざまな魅力を市内外に発信し、産業の振興はもとより、観光・交流人口の増加や市外からの定住促進につなげていきたい」とあいさつした後、平成28年度叙勲の受章者9人に記念品が贈られました。

会場では、主催者をはじめ、地元選出の国会議員、県議会議員、市議会議員、各種団体や市関連企業の代表者など参加者246人が新年のあいさつを交わしながら談笑するなど、和やかな雰囲気の中で下妻市の飛躍を誓い合いました。

新年に飛躍を誓い合う

2017年下妻市新春の集い 1月18日

下妻市、下妻市商工会、常総ひかり農業協同組合の3者が主催する「2017年下妻市新春の集い」が、八幡屋で開催されました。

式典では、主催者を代表して稲葉市長が「これまで市民と共にまいたまちづくりの種が芽吹き、育ち、実りの時期を迎えるものがある。平成29年度当初には、市街地活性化の仕掛け、ま



会話を楽しみながら歩いて心地よい汗を流す参加者

新春の朝に歩いて心地よい汗

第46回新春歩け歩け大会 1月3日

新春恒例の「新春歩け歩け大会」が1月3日早朝、下妻市民文化会館を発着点に、大宝八幡宮などを経由する市内約8.4キロメートルのコースで開催されました。今回で46回目を迎えました。

晴天に恵まれた新春の朝に参加した市民など644人は、思い思いのペースで全員が完歩し、心地よい汗を流しました。

夫婦で毎回参加するという齊藤誠さん（下妻乙・54）は「普段はあまり歩かないので8.4キロは長かったが、2人で気持ちよく歩けた。抽選で福袋が当たって、ラッキーな年になりそう」と完歩賞のダルマと福袋を手に笑顔がこぼれていました。

ほっとレポ・ライン Hot Repo Line 市民の声

まちづくり市民グループ「しもつま3高」の住谷辰夫さんからの便りを紹介します。

茨城県初の都市型屋根付広場「Waiwaiドームしもつま」が、旧ジャスコ跡地に間もなくオープンそれに先立って、「かふえまる」がドーム隣にオープンしました。

「かふえまる」とは、まちづくり市民グループ「しもつま3高」が中心となって空き店舗を改装した市民だれもが利用できる貸しスペースです。ふらりと立ち寄って本を読むよし、マルシェの開催もOK♪ 得意技を生かしてチャレンジショップをやりたい!などに使える新しいタイプのまちの居場所です。

2月5日のオープンイベントは、ミニライブ&カフェで盛り上がり、今後も多くのイベントが計画されています。チーム最年長オジサンのおも、最年少女子高生3人組とのコラボで1日限定「バレンタインカフェ&BAR」を2月12日に企画。高校生企画のチョコフォンデュカフェでは、マシュマロや鈴カステラ、柿の種などをご用意... JKお勤めのスイーツです♪ BARコーナーでは、ノンアルコールカクテルづくりを体験できるほか、大人の方にはウイスキーをハイボールやストレートで提供。一度は飲んでみたい銘柄やお一人様一杯限りの蒸留所限

まちの居場所づくり

定&レアボトルなどの逸品が味わえます。バレンタイン企画を逃した方は、ホワイトデー企画も検討中ですので、楽しみにお待ちください。

「しもつま3高」とは、下妻を元気ある面白い街にしようという有志の集団で、現在はかふえまるの改修と運営を中心に活動しています。市民それぞれが持つさまざまな「得意技」を持ち寄って、ゆるく・楽しく・持続できる活動、をモットーにしています。ボランティアでご協力いただける方なら誰でも参加OK。興味のある方は「しもつま3高」のブログをご覧ください。

ブログ「しもつま3高日記」

<http://shimotsuma3rd.blogspot.jp/>



カフェとミニライブを楽しむ来場者(2月5日、かふえまる店舗内で)



手を伸ばして札を取る児童

「いばらきっ子かるた」で児童熱戦

第4回図書館かるた大会 1月15日

第4回図書館かるた大会が、下妻市立図書館で開催され、参加した市内の5歳～小学4年の児童25人は「すくすく育て・いばらきっ子かるた」で熱戦を繰り広げました。

茨城県独自の同かるたは、平成24年度に県教育委員会が読み札となる標語を県民等に募集し、44の読み札と絵札を作成したもので、子どもたちが遊びを通して、望ましい生活習慣や規範意識について学ぶことを目的としています。

小学2年生の部で優勝した小林飛鷹さん（下妻小）は「1年生の時は勝てなかったのがうれしい。来年も優勝したい」と笑顔で抱負を語りました。



1月26日の「文化財防火デー」に先立ち、国指定の重要文化財「大宝八幡宮本殿」を有する大宝八幡宮の境内で、消防訓練が行われました。

「文化財防火デー」の制定は、昭和24年1月26日に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺(奈良県斑鳩町)の金堂が炎上し、壁画が焼損したことに基いており、昭和30年1月に第1回文化財防火デーが開催されて以来、今年で63回を数えます。

開会式のあいさつで、横瀬教育長は、市内には文化財が国指定2件、県指定10件、市指定31件の計43件に加え、国登録の有形文化財1件を有することをあげ、「文化財を後世に伝えることが私たちの責務であり、地域の文化財は、地域で守ることが肝心」と強調しました。

消防訓練には、下妻消防署や消防団、八幡宮職員、地元住民など約100人が参加。社務所から出火したことを想定した訓練には、八幡宮職員や地域住民が消火器で初期消火を行い、拝殿への延焼拡大を想定した消火訓練では消防団が本番さながらに放水し、迅速な消火活動が展開されました。

地元消防団の第3分団で分団長を務める赤荻秀康さんは「地元の重要な文化財なので、火事や事故がないことが何より」と話しながら、「有事の際にはしっかりと対応できるように日々訓練し、連携して迅速に消火活動にあたりたい」と力強く語りました。



大宝八幡宮拝殿に本番さながらに放水する下妻市消防団員

みんなで守ろう文化財

「文化財防火デー」に伴う消防訓練 1月22日

有料広告欄